

気候変動を踏まえた下水道による浸水対策等に係る
課題及び論点について

気候変動を踏まえた下水道による浸水対策等に係る課題及び論点（案）

現状・問題点	課題（対策の方向性）	論点（解決すべき事項）	検討事項
<p>○気候変動に伴う降雨量の増加等の懸念</p> <p>○近年、度重なる出水により多くの内水被害が発生するとともに、河川の氾濫等により下水道施設が浸水し、機能が停止</p> <p>○下水道整備は一定程度進捗しており、完成施設では効果が発現</p> <p>○一方、下水道整備が途上である地区において内水被害が発生。また、下水道整備が完了した地区でも下水道の施設計画を超過する降雨により内水被害が発生</p> <p>○内水ハザードマップについては、既往最大規模降雨等で75%の地方公共団体、想定最大規模降雨で地下街を有する地方公共団体のうち5%で作成済</p>	○気候変動を踏まえた雨水計画（事業計画）の見直し	○気候変動の影響を踏まえた計画目標の外力の設定	○下水道計画としての外力の設定方法等
	○下水道施設の機能の維持（耐水化の推進）	○耐水化の対象外力の設定 ○効率的・効果的な対策手法	○耐水化の対象外力の考え方 ○効率的・効果的な対策手法の検討 ・対策箇所の優先順位・対策期間 等
	○早期の安全度の向上	○効率的・効果的なハード整備 ○既存施設の運用の工夫策 ○まちづくりとの連携によるリスク軽減手法	○効率的・効果的なハード整備の検討 ・整備の加速化、更なる連携施策 等 ○既存施設の運用の工夫策 ・ポンプ排水の効率化、水門の操作性の向上 ○まちづくりとの連携によるリスク軽減手法の検討 等
	○ソフト施策の更なる推進・強化	○効率的・効果的なソフト施策（内水ハザードマップ等）	○内水ハザードマップ作成の加速化 ・内水ハザードマップ（実績、想定最大規模）作成の推進 等 ○効果的なソフト施策の検討

第1回検討会における検討内容